

4.2 秋田ウッド株式会社

4.2.1 事業者情報

名 称	秋田ウッド株式会社			
本社住所	〒017-0002	秋田県大館市白沢字松原 570		
資本金、出資金	85,000 千円			
従業員数	30 人			
設立年月日	平成 14 年 12 月 13 日			
URL	http://akitawood.e-const.jp			
事業概要	『廃木材・廃プラスチックを材料に』			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理グループ		
	担当者名	長谷川 康子		
	連絡先	電話番号	0186-47-2230	
		FAX	0186-47-2231	
E メールアドレス		y-hasegawa@way.ocn.ne.jp		

4.2.2 技術情報

キーワード	木材・プラスチック再生複合材、WPC、WPRC、再生木材			
技術名称	エムウッド、エーオーエムウッド			
技術の分類	新素材リサイクル			
目的・用途	エクステリア用途のデッキ・フェンス・ベンチ			
特長	ほぼ 100%リサイクル素材の再生木材である			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	廃木材	受入条件、形状	一片 10cm 以下 含水率 15%以下
	有償	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	フレーク状、 又はペレット状
供給資源・製品	デッキ材		形状	断面中空の板材 断面無垢の板材
	ルーバー材		形状	断面中空の棒状材
	フェンス		形状	フェンス面材

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	有償で廃棄物の処理ができる。 LCCO2の値は2480kca・co2（バージン材4210kca・co2の59%）
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	JIS A5741 に規定される品質・性能をクリアしたものを、既存材料の価格より廉価で仕入れることができる。 既存の材料と比較して耐久性・メンテナンス性に優れ、維持費を抑えられる。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	年間工場見学者受入数はおよそ1000人

4.2.3 実績情報


	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	廃木材(建築解体材)	289	147	ton
	廃木材(製材廃材)	407	487	ton
	廃プラスチック(工場端材)	192	199	ton
	廃プラスチック(ペレット)	219	199	ton
受入可能量	廃木材	-	非公開	ton
	廃プラスチック(PP)	-	非公開	ton
	廃プラスチック(PE)	-	非公開	ton
販売実績量の推移	木材・プラスチック再生複合材	非公開	非公開	ton
主な調達先	建築解体業者、製材工場、木工場 プラスチック製品製造工場、廃プラスチック加工業者			
主な供給先	住宅設備販売会社、建設会社、住宅建設会社、工務店など			
技術開発の実績(過去5年間)	非公開			
設備投資の実績(過去5年間)	非公開			
補助金等支援策の活用実績(過去5年間)	2009 環境産業普及啓発費補助金 2009 リサイクル製品販促調査費補助金 2011 秋田県産学共同フィージビリティスタディ支援事業 2012 環境産業施設整備費補助金(3R推進枠補助金)			

8.4 株式会社リーテム

8.4.1 事業者情報

名 称	株式会社リーテム			
本社住所	〒101-0021	東京都千代田区外神田三丁目 6 番 10 号		
資本金、出資金	100,000 千円			
従業員数	146 人			
設立年月日	昭和 26 年 6 月 2 日			
URL	http://www.re-tem.com/			
事業概要	資源のリサイクル及びリユース / 製鋼原料及び非鉄貴金属原料の売買 / 建築物・工作物の解体・移設・撤去 / 資源循環・リサイクルに関するコンサルティング / エコインダストリアルパークなどにおけるリソースマネジメント及びエコセンターマネジメント / 産業廃棄物処分(中間) / 産業廃棄物収集運搬 / 一般廃棄物処分			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	マネジメント推進部		
	担当者名	工藤 博之		
	連絡先	電話番号	03-5256-7041	
		FAX	03-3251-5805	
E メールアドレス		hiroyuki-kudo@re-tem.com		

8.4.2 技術情報(1)

キーワード	高性能特殊破砕機による高精度リサイクル
技術名称	破砕・選別技術
技術の分類	破砕・選別
目的・用途	高性能特殊破砕機を導入し、鉄スクラップのリサイクルと共に、鉄以外の有用な非鉄貴金属を選別リサイクルしています。
特長	SET 内の東京工場と水戸工場の2工場連携：東京工場で破砕処理した非鉄金属混合物を水戸工場ですらに高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別し、埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。
設備、製品等の写真、イメージ	

処理フロー図

東京工場の処理フロー



*木くず(物品買貨業に係る木くず及び貨物の流通のために使用したパレットに限る)は、破砕後2次委託先で再資源化処理をしています。

廃棄物の種類

産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
有償	その他(金属くず・廃プラ類)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
一廃	その他(普通ごみ)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可

供給資源・製品	鉄シュレッダー		形状	シュレッダー機械加工したもの
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。 ・施錠保管、監視カメラ等万全を期すセキュリティ体制により情報漏洩や盗難を防止します。 ・再資源化完了報告書の発行サービスを実施しています。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	高性能特殊破碎設備及び2工場の連携により、高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別しており、純度が高い製品となります。	

8.4.3 技術情報(2)

キーワード	収集→処分→新規設置の一括請負によるワンストップサービス
技術名称	収集運搬技術
技術の分類	収集・運搬・保管
目的・用途	廃棄物・有価物の収集運搬
特長	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。
設備等の写真	

廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
	産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
	産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。	

8.4.4 実績情報

	品目名	平成20年度	平成24年度	単位
処理実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
	廃プラスチック類	1,200	2,200	t
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	280	590	t
	木くず	12	110	t
受入可能量	混合物	-	80,000	t
販売実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
主な調達先	主に製造業、リース業など			
主な供給先	主に製鉄業など			

<p>技術開発の実績 (過去5年間)</p>	<p>平成23年3月より独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業「電子基板等からのタンタル回収の実用化にむけた研究開発」(以下、本事業)を実施し、その結果、世界初の電子基板からのタンタルコンデンサ回収のための実用可能なラインを構築しました。</p>
<p>海外展開の実績 (過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国太倉市の自社工場と国内自社工場の連携により、廃プラ類やハーネス類を中心に国際資源循環へ取り組んでいる。 ・中国天津市の天津経済技術開発区(TEDA)でEIDの実現を目指して事業展開を進めている。 <p>平成22年より経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」として3年間、現地で工業系廃棄物のマテリアルフロー調査や産官学の協力体制づくり、廃棄物の管理報告制度の試験導入に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国を中心に、海外拠点における廃電気電子機器等のリサイクル技術および設備の導入展開を行っている。
<p>補助金等支援策の活用実績(過去5年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省「使用済小型家電の回収モデル事業(茨城県事業運営業務)」(H.20-H.22年) ・経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」(H.22-H.25年) ・NEDO「電子基板等からのタンタル回収の実用化研究」(H.23-H.24年) ・環境省「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業」(H.24-H.25年) ・経済産業省「インフラ・システム輸出促進調査等」(H.24-H.25年)

11.1 アイオーティカーボン株式会社

11.1.1 事業者情報

名 称	アイオーティカーボン株式会社			
本社住所	〒931-8406	富山県富山市松浦町 9 番 30 号		
資本金、出資金	70,000 千円			
従業員数	15 人			
設立年月日	平成 14 年 2 月 28 日			
URL	http://www.iotc.co.jp			
事業概要	<p>家屋解体材、建築廃材、伐採樹木、木製品産業などから排出される廃木材、工場等から排出される廃木質パレット、ダム流木などの産業廃棄物、一般廃棄物を木くずとして受け入れ、破碎・選別、炭化などの中間処理を施し、バイオマス燃料チップや炭化製品として販売している。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	事業所		
	担当者名	越後厚志		
	連絡先	電話番号	076-426-1233	
		FAX	076-426-1244	
E メールアドレス		info@iotc.co.jp		

11.1.2 技術情報

キーワード	木くず、炭化、木炭、調湿、脱臭、バイオマス			
技術名称	バイオマス燃料、炭化			
技術の分類	破碎・選別、炭化			
目的・用途	重油代替のバイオマス燃料、吸着目的の木炭			
特長	廃棄物の木くずを利用しての、バイオマス燃料チップ、吸着目的の木炭の製造販売。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<pre> graph TD A([原料(廃木材等)ストック]) --> B[選別・破碎] B --> C((高温炭化炉)) C --> D[炭化] D --> E[木炭 木炭ボード] E --> F[<商品製造>] F --> G{検品 梱包} G --> H[商品出荷] </pre> <p> ○ 原材料・添加物 □ 加工工程 選別・検査・検品 </p>			
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	バラ
	一廃	廃木材	受入条件、形状	バラ
供給資源・製品	バイオマスチップ		形状	5～50ミリの長さのチップ
	木炭		形状	1～40ミリの長さのチップ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	単に焼却、埋め立てにするのではなく、バイオマス燃料、吸着目的の木炭としてリサイクル製品化できる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	重油などの高騰が予想される化石燃料の代替として、バイオマスチップを比較的安価に調達できる。また、重油用のボイラーや発電機から、バイオマスボイラーなどに変更した場合、国の補助金などが使える場合がある。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成18年度のバイオマス利活用優良表彰で、農林水産省農村振興局長賞を受賞。平成24年に財団法人とやま環境財団より、エコアクション21富山県環境活動レポート大賞優良賞受賞。施設見学者を年間1,000名受け入れている。	

11.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃木材	4,300	5,790	トン
受入可能量	廃木材	-	7,000	トン
販売実績量の推移	バイオマスチップ	-	3,624	トン
	木炭製品	-	226	トン
主な調達先	廃棄物処理業(収集運搬業、中間処理業)、製造業、建設業など。			
主な供給先	バイオマスボイラーなどを持つ工場、肥料会社、雑貨店。			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	バイオマスチップの粒径選別フルイ機導入による選別。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	振動式フルイ機。木炭少量充填機。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	富山県の「明日のとやまブランド 育成支援事業」 23年度 666,000 円、24 年度 533,000 円、25 年度 560,000 円。			

13.2 中日精工株式会社

13.2.1 事業者情報

名 称	中日精工株式会社			
本社住所	〒442-8510	愛知県豊川市穂ノ原三丁目 14 番地 1		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	75 人			
設立年月日	昭和 41 年			
URL	http://www.chunichi-seiko.co.jp			
事業概要	<p>輸送用機器部品加工(金属歯車類)・木材廃棄物(間伐材チップ、木工所オガコ)を取り扱う、建築廃材及び合板は含まず。 県内木材廃棄物のみ使用(運搬コストを考慮)。 木材廃棄物を水蒸気加熱、加圧して付加価値を高めた製品(スピーカーインシュレータ、消臭剤)に再生しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	研究・開発室		
	担当者名	近藤泰人		
	連絡先	電話番号	0533(84)1411	
		FAX	0533(84)1415	
Eメールアドレス		y_kondo@chunichi-seiko.co.jp		

13.2.2 技術情報

キーワード	間伐材、木材チップ、オガコ		
技術名称	木質成形体製造技術、消臭剤製造技術		
技術の分類	加工・成形(再製品化)、新素材リサイクル		
目的・用途	木材オガコを原料として新素材を金型成形する。 木材チップから消臭剤に加工。		
特長	高密度木質の特徴を活かした高付加価値音響製品に利用。 活性炭や備長炭より高い消臭機能の消臭剤を低コストで作れる。		
設備、製品等の写真、イメージ	 		
処理フロー図	①木材チップ、オガコ→蒸煮(高温・高圧飽和水蒸気)→乾燥→消臭剤 ②オガコ→蒸煮(高温・高圧飽和水蒸気)→乾燥→粉碎→金型成形→新素材成形製品		
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状 チップ、オガコ 金属、建築廃材は含まない
供給資源・製品	金型成形の成形品		形状 金型による
	消臭剤		形状 チップ状 金型成形形状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却処分されずCO2の削減になる。 ・買取金額が原料として高く売れる。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> ・消臭剤販売価格 1,000 円/kg
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・2005 年愛知万博 愛・地球賞受賞(持続可能 100 の技術)

13.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃木材チップ	非公開	非公開	kg
	オガコ	非公開	非公開	kg
受入可能量	廃木材チップ	-	非公開	t
	オガコ	-	非公開	t
販売実績量の推移	消臭剤	非公開	非公開	kg
	成形品	非公開	非公開	kg
主な調達先	主に製材業者			
主な供給先	主に道の駅(販売先)			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	消臭剤の製造方法および組成物で特許出願(2009 年、2010 年)			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	・経済産業省「平成 21 年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」・中部経済産業局「平成 24 年度新事業活動補助金(農商工等連携対策支援事業)」			
その他実績	2013 年 B1 グランプリに豊川市から要請され地域産業出展した。			

13.5 三幸毛糸紡績株式会社

13.5.1 事業者情報

名 称	三幸毛糸紡績株式会社			
本社住所	〒450-0002	愛知県名古屋市中村区名駅五丁目 4 番 14 号		
資本金、出資金	50,790 千円			
従業員数	101 人			
設立年月日	昭和 23 年			
URL	http://			
事業概要	衣料・手編み毛糸・機械・土木・生活関連と、あらゆる分野に、繊維製品及び繊維素材を提供しております。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	池戸 将文		
	連絡先	電話番号	052-571-3331	
		FAX	052-571-3510	
E メールアドレス		skb-wool@ivy.ocn.ne.jp		

13.5.2 技術情報

キーワード	廃木材		
技術名称	木質系廃棄物の解繊素材を利用した低環境負荷・高付加価値マット製造		
技術の分類	その他(木質系廃棄物のリサイクル)		
目的・用途	河川堤防の土砂流出防止用マット・緑化資材等に利用します。		
特長	自然に分解するため環境負荷が小さく、はがす手間もかかりません。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	<p>① 質系廃棄物→解繊維→ニードリング→フレキシブルマット</p> <p>② 木質系廃棄物→蒸気処理→粉碎→加熱・加圧→エンボスマット</p>		
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状 チップ状態
供給資源・製品	フレキシブルマット		形状 マット
	エンボスマット		形状 マット
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	木質系廃棄物由来の繊維は短いため用途がなく、その多くは焼却処分されますが、フレキシブルマット・エンボスマットとしてリサイクルが可能です。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	製造時に接着剤を一切使用せず、自然に分解するため環境負荷が小さく、はがす手間もかかりません。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	2006 愛知環境賞銅賞

13.5.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	エンボスマット	非公開	非公開	m ²
受入可能量	木質ミニチップ	-	非公開	kg
販売実績量の推移	エンボスマット	非公開	非公開	m ²
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開			

14.1 株式会社 DINS 堺 RAC 事業所

14.1.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺 RAC 事業所			
本社住所	〒592-8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号		
資本金、出資金	96,000 千円			
従業員数	47 名			
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日			
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/			
事業概要	24,000m ² の敷地に、11,000m ² の建屋という広大な敷地にて建設現場や工場からの混合廃棄物を受け入れ、高度選別によって製紙や鉄・非鉄の精錬工程に提供するマテリアル原料を確保。また、良質な可燃物やリサイクル原料は、大栄環境グループの各施設へ送られ、サーマルリサイクル及び路盤材や無水石膏、RPF などの再生製品となり、再資源化の促進に貢献している。			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 総務グループ		
	担当者名	室賀 英治		
	連絡先	電話番号	072-245-7777	
		FAX	072-245-7930	
E メールアドレス		muroga8584@dinsgr.co.jp		

14.1.2 技術情報(1)

キーワード	収集、運搬、保管、非飛散性アスベスト			
技術名称	産業廃棄物の収集運搬、積替え保管			
技術の分類	収集・運搬・保管			
目的・用途	排出事業者様の現場(建築現場、解体現場、工場等)から排出される廃棄物を適切に運搬する。			
特長	排出事業者様の現場にコンテナの設置を行い、お客様の要望に応じて適時引取りに伺う。運搬時に飛散・漏洩する事が無いよう、コンテナ上部にシート掛けを行う。また、非飛散性アスベストについては、客先にてフレコン2重梱包を行って頂き、弊社保管ヤードにて適切に積替え保管を行う。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状	見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	見積書による
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分(グループ会社処分場)の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	全車NOx・PM法基準適合車を使用。弊社はエコアクション21を取得しており、アイドリングストップ、エコ運転を心掛けている。エコ運転については、デジタコにて点数管理。	

14.1.3 技術情報(2)

キーワード	破砕、選別、高度選別、屋内処理、建設系廃棄物、工場系廃棄物			
技術名称	産業廃棄物の破砕・選別			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	排出事業者様の現場（建築現場、解体現場、工場等）から排出される廃棄物を適切に破砕・選別し、有価物、リサイクル原料、可燃物、不燃物に分け、循環型社会を構築する。			
特長	高度選別施設、屋内処理、500t/日の処理能力			
設備等の写真	 <p>粗選別ヤード 一次手選別コンベア 破砕機 比重差選別機</p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状	見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	見積書による
供給資源・製品	廃プラスチック類(梱包)		形状	梱包物
	ダンボール		形状	梱包物
	廃石膏ボード		形状	破砕後物
	スクラップ		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分(グループ会社処分場)の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	廃棄物から捻出した原料をリサイクルすることによって、製品購入者側の環境負荷削減活動に寄与出来る。
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	平成 24 年度 RAC 事業所見学者数 228 名

14.1.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	混合廃棄物	67,795	61,818	t
	廃プラスチック類	1,863	4,447	t
	紙くず	14	20	t
	木くず	1,773	1,420	t
	がれき類	7,624	1,952	t
	ガラス陶磁器くず	3,570	5,405	t
	金属くず	216	5	t
受入可能量	廃プラスチック類	500	500	t
	紙くず			
	木くず			
	繊維くず			
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず			
	がれき類			
販売実績量の推移	製鋼原料	355	1,014	t
	RPF 原料	483	990	t
	製紙原料	6	103	t
	廃プラスチック (塩ビパイプ)	0	28	t
	再生プラスチック原料	0	19	t
主な供給先	大栄環境グループ、セメント会社、スクラップ会社、古紙リサイクル業者			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	収集車両追加			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 計量証明事業登録 エコアクション 21 認定 消防協力事業所 登録(堺市消防局)			

14.2 株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所

14.2.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所			
本社住所	〒592-8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号		
資本金、出資金	96,000 千円			
従業員数	25 人			
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日			
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/			
事業概要	<p>建設廃木材を主体とする廃棄物を受け入れ、有用なバイオマス資源としてカーボンニュートラルなバイオエタノールを製造する資源循環型のリサイクルプラントです。また、エタノール発酵に不向きな廃木材についてはチップ化、焼却を行い、焼却過程で蒸気を発生させ、バイオエタノール製造にかかる熱源としての利用及び蒸気タービン発電機で発電に利用しています。発電された電力については自家供給を行い、余剰電力については再生可能エネルギーとして固定価格で売電しています。また、エタノール製造工程で発生する残渣については調質し、燃料用リグニンとして売却しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 バイオエタノール事業所		
	担当者名	徳原 一浩		
	連絡先	電話番号	072-243-3071	
		FAX	072-243-3072	
E メールアドレス		tokuhara8141@dinsgr.co.jp		

14.2.2 技術情報(1)

キーワード	バイオエタノール、発酵、E3、KO11			
技術名称	加水分解、アルコール発酵			
技術の分類	その他(エタノール発酵)			
目的・用途	温室効果ガス削減・レギュラーガソリン添加用バイオエタノール			
特長	カーボンニュートラルなバイオエタノール使用による温室効果ガス削減			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃酸	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃油	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	植物性残さ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
供給資源・製品	バイオエタノール		形状	タンクローリー積込
	燃料用リグニン		形状	固形粉体

アピールポイント	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化石燃料代替バイオエタノールによる二酸化炭素排出量の削減及び再生可能なエネルギー導入による循環型社会の形成 ガソリンに混入時バイオマス証明による揮発油税の減免
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業(環境省) 再生可能エネルギー発電設備の認定(経済産業省) 熱回収施設設置者認定(堺市長) 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク登録 堺臨海エコファクトリーズ協議会としても見学者来場多数あり

14.2.3 技術情報(2)

キーワード	再生可能エネルギー		
技術名称	再生可能エネルギー発電設備の認定		
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却		
目的・用途	バイオマス発電設備(建設資材廃棄物燃焼)による再生可能エネルギー認定		
設備等の写真			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状
供給資源・製品	電力		形状

14.2.4 技術情報(3)

キーワード	熱回収			
技術名称	熱回収施設設置者認定			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
特長	熱回収率 18.2%			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	
供給資源・製品	電力		形状	
	燃料用リグニン		形状	

14.2.5 実績情報


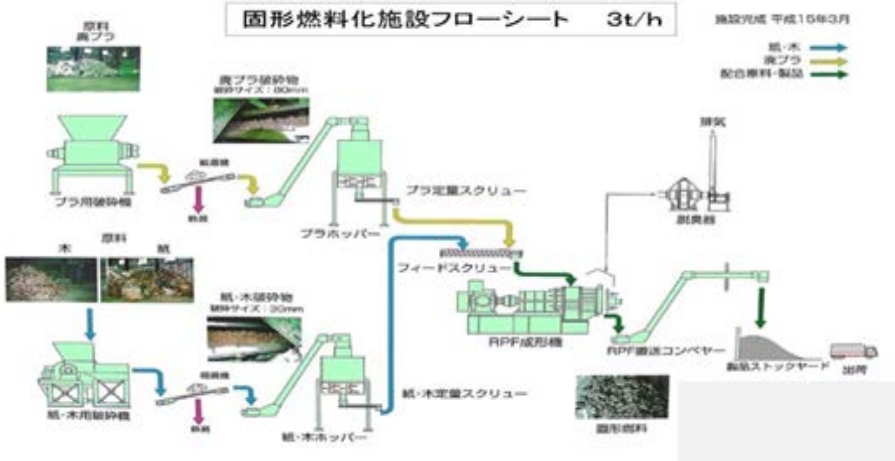
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	30,057	24,948	t
	植物性残渣	-	11	t
	廃酸	-	121	t
	廃アルカリ	-	37	t
	廃油	-	0	t
受入可能量	木くず	-	158	t/日
	植物性残渣	-	5	t/日
	廃酸	-	434	m ³ /日
	廃アルカリ	-		
	廃油	-		
販売実績量の推移	バイオエタノール	非公開	-	t
	燃料量リグニン	非公開	非公開	t
主な調達先	産業廃棄物処理業			
主な供給先	アルコール製造・販売・使用許可事業者 発電所			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 21 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 22 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 23 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 24 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	リグニン調質設備 4t散水車 ロータリーエンジン発電設備 投入用バックホー			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 アルコール製造事業・使用許可 計量証明事業登録 再生可能エネルギー発電設備認定 熱回収施設設置者認定 エコアクション 21 認定			

17.3 株式会社オガワエコノス

17.3.1 事業者情報

名 称	株式会社オガワエコノス		
本社住所	〒 726-0013	広島県府中市高木町 502-10	
資本金、出資金	10,000 千円		
従業員数	208 人		
設立年月日	昭和 27 年		
URL	http://www.o-econos.com		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理・再生 ・下水処理施設及びごみ処理施設の維持管理 ・浄化槽の維持管理及び清掃 ・固形燃料(RPF)の製造及び販売 ・肥料の製造及び販売 		
事業所写真	 <p style="text-align: center;">RPF製造施設（A棟） 全景 (床面積 1260㎡)</p>		
問合せ先窓口	部署名	鶉飼工場	
	担当者名	野津山 竜二	
	連絡先	電話番号	0847-47-6110
		FAX	0847-47-6112
Eメールアドレス		http://www.o-econos.com	

17.3.2 技術情報

キーワード	紙くず・木くず・廃プラ、固形燃料			
技術名称	RPF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF,RPF)			
目的・用途	RPF は、石炭の代替え燃料として大手製紙会社のボイラーに使われています。			
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が石炭の 1/2～1/3 と安価である。 ・燃え殻が石炭より少ない。 ・CO2 排出量が石炭より少ない。 			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	
	一廃・産廃	古紙	受入条件、形状	
	一廃・産廃	繊維くず	受入条件、形状	
	一廃・産廃	汚泥	受入条件、形状	含水率の低い物 (乾燥・炭化汚泥など)
	一廃・産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	塩素含有物を除く

供給資源・製品	RPF		形状	φ38mm、長 100mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されていた廃プラ、木くず、紙くずを固形燃料化(RPF) する事によりリサイクルが可能になり、排出者はゼロエミッションを向上することができます。 ・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・CO2 削減量: RPF 760g-CO2/kg (石炭との比較) ・販売価格 : RPF 4~6 円/kg ・発熱量 : 6,000kcal/kg(石炭相当)	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・1500 人の工場見学を実施。(平成 24 年度実績) ・平成 15 年中国地域ニュービジネス優秀賞を受賞。 ・平成 17 年 (財)クリーン・ジャパンセンター資源循環技術・システム奨励賞を受賞	

17.3.3 実績情報


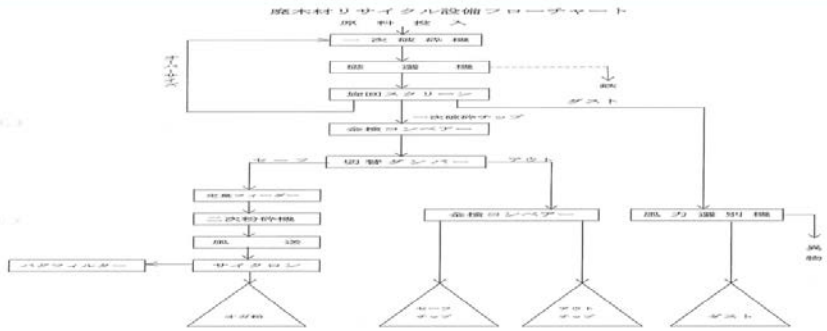
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ	6,000	6,900	t
	紙くず、木くず、繊維くず	3,800	4,500	t
受入可能量	廃プラ	-	13,000	t
	紙くず、木くず、繊維くず、汚泥	-	9,000	t
販売実績量の推移	RPF	9,000	11,000	t
主な調達先	・繊維製造業、プラスチック製造業、木工業、解体業、同業者			
主な供給先	・製紙会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	・5,000 万円を投じて、三軸破碎機から一軸破碎機に変更したことにより、電気使用量が 17%削減した。 ・500 万円を投じて、塩素分析機を購入したことにより、原料が塩素含有物かの判断が容易となり、RPF の塩素含有率が低減した。 ・350 万円を投じて、粉じん対策としてミスト噴霧設備を設置した事により作業環境が改善された。			

19.1 株式会社リサイクル高知

19.1.1 事業者情報

名 称	株式会社リサイクル高知			
本社住所	〒781-0112	高知県高知市仁井田 4613-2		
資本金、出資金	18000 千円			
従業員数	12 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL				
事業概要	木くずの中間処理施設です 処理後のチップは木質バイオマス燃料チップとして出荷しています			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名			
	担当者名			
	連絡先	電話番号	088-847-1225	
		FAX	088-837-6248	
	Eメールアドレス			

19.1.2 技術情報

キーワード	木くず、木質バイオマス、燃料、チップ		
技術名称	木くずの破碎、チップ製造		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	木質バイオマス燃料チップを発電機の燃料		
特長	屋内施設のため、燃料チップとして使いやすい		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状
供給資源・製品	木質バイオマス燃料チップ		形状 チップ
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	一般社団法人高知県リサイクル協会 会員は1割引 屋内施設でチップを製造しています
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	

19.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	非公開	非公開	t
受入可能量	木くず	-	非公開	t
販売実績量の推移	チップ	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			

22.6 株式会社エコウッド

22.6.1 事業者情報

名 称	株式会社エコウッド			
本社住所	〒808-0021	北九州市若松区響町1丁目12-1		
資本金、出資金	300,000 千円			
従業員数	43 人			
設立年月日	平成 14 年 7 月			
URL	http://www.eco-wood.jp			
事業概要	廃木材と廃プラスチックを主原料とした建築資材の製造販売			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	林節夫		
	連絡先	電話番号	093-751-2424	
		FAX	093-751-2430	
Eメールアドレス		hayashi@eco-wood.jp		

22.6.2 技術情報

<p>キーワード</p>	<p>廃木材、バイオマス、廃プラスチック、合成木材、再生木材、人工木材、木材・プラスチック再生複合材</p>			
<p>技術名称</p>	<p>廃木材と廃プラスチックを用いた建築資材の製造</p>			
<p>技術の分類</p>	<p>その他(破碎・選別、押出成型、加工)</p>			
<p>目的・用途</p>	<p>主にエクステリアとして、デッキ、ルーバー、ベンチ等の建築資材としてお使い頂いています。</p>			
<p>特長</p>	<p>従来の天然木材に比べ、耐久性に優れ、使用後のリサイクルも可能です。</p>			
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>				
<p>処理フロー図</p>				
<p>廃棄物の種類</p>	<p>有償</p>	<p>廃木材</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>フィンガーサイズ</p>
	<p>有償</p>	<p>廃プラスチック類(PET除く)</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>粉碎形状</p>

供給資源・製品	木材・プラスチック再生複合材		形状	厚 30 × 幅 145 × 長 2000 mm他
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源としてリサイクルが可能であり、排出者は CRS (社会的責任) を向上することができます。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	環境負荷削減効果、製品の品質 (安全・安心等) 販売設計価格 20,000 円/m ²	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・ISO9001:2008 ・JIS A 5741 木材プラスチック再生複合材 ・エコマーク ・北九州市建設リサイクル資材認定 ・北九州エコプロダクツ ・福岡県リサイクル製品 ・九州環境ビジネス大賞 優秀賞 ・福岡産業デザイン賞 ・新建築技術認定商品 ・カーボンフットプリント使用許諾 見学者受入数:平成 24 年度実績約 1100 人	

22.6.3 実績情報


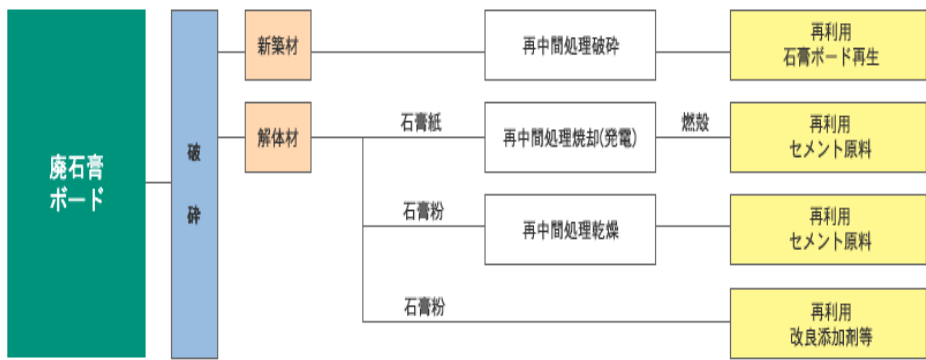
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃木材	非公開	非公開	トン
	廃プラスチック	非公開	非公開	トン
受入可能量	廃木材	-	非公開	トン
	廃プラスチック	-	非公開	トン
販売実績量の推移	木材・プラスチック再生複合材	非公開	非公開	トン
主な調達先	中間処理業者、プラスチック再生業者			
主な供給先	ハウスメーカー、建築資材施工会社、商社			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	自己消火性、遮熱性、表面意匠性、軽量化を付与した木材・プラスチック再生複合材			
補助金等支援策の活用実績 (過去 5 年間)	北九州市環境未来技術助成			

22.9 株式会社 NRS

22.9.1 事業者情報

名 称	株式会社 NRS			
本社住所	〒808-0021	福岡県北九州市若松区響町 1 丁目 79-1		
資本金、出資金	20,000 千円			
従業員数	60 人			
設立年月日	平成 20 年			
URL	http://www.nrs-inc.co.jp/			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理全般(木くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず、がれき類、金属くず、繊維くず、ゴム屑)を取り扱っています。 ・九州エリア及び山口県の収集運搬許可を有しています。 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	管理部		
	担当者名	荒木		
	連絡先	電話番号	093-752-6100	
		FAX	093-752-6111	
E メールアドレス		araki@nrs-inc.co.jp		

22.9.2 技術情報

キーワード	廃石膏ボード			
技術名称	廃石膏ボードリサイクル技術			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	分離した石膏粉は、石膏ボード原料・セメント原料として再利用します。石膏紙は、製紙原料として再利用します。			
特長	新築工事や解体の建設現場などから発生する廃石膏ボードを各業者様から収集し、リサイクルすることで環境への配慮はもちろん、大切な資源を無駄なく利用することができます。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状・バラ

22.9.3 実績情報(1)

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	740	1,050	t
	紙くず	30	80	t
	廃プラ	1,110	1,580	t
	繊維くず	310	800	t
	ガラスくず	320	530	t

受入可能量	木くず	-	1,500	t
	紙くず	-	150	t
	廃プラ	-	1,700	t
	繊維くず	-	1,000	t
	ガラスくず	-	1,000	t
販売実績量の推移	再生石膏粉	-	530	t
主な調達先	主に建設業など			
主な供給先	主にセメント業、製紙業など			

22.9.4 実績情報(2)



	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	がれき類	240	330	t
	廃石膏ボード	4,630	11,860	t
	混合廃棄物	11,250	9,330	t
受入可能量	がれき類	-	500	t
	廃石膏ボード	-	15,000	t
	混合廃棄物	-	12,000	t

22.18 楽しい株式会社

22.18.1 事業者情報

名 称	楽しい株式会社			
本社住所	〒808-0002	北九州市若松区向洋町 10-1 北九州エコタウン実証研究エリア内		
資本金、出資金	35,000 千円			
従業員数	8 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.fun-c.jp			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●北九州エコタウン発 廃棄物とバイオマスの新資源化システムの提案 <ul style="list-style-type: none"> ★食品廃棄物の新資源化システム ★可燃ごみ・バイオマス等の熱分解炭化技術 ★廃プラスチック・廃食用油・バイオマス等の接触分解油化技術 ●本格循環いも焼酎「明月五良」の企画・販売 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	メリーズシステム事業部		
	担当者名	松尾隆貴		
	連絡先	電話番号	093-752-5300	
		FAX	093-752-5303	
E メールアドレス		ceres@fun-c.jp		

22.18.2 技術情報(1)

キーワード	生ごみ、バイオマス、廃棄物処理、堆肥、装置、システム		
技術名称	生ごみリサイクルシステム「メリーズシステム」		
技術の分類	堆肥、液体肥料化		
目的・用途	自治体および事業系食品廃棄物のリサイクル		
特長	1日あたり数10kgから5トン未満の小規模分散型の、生ごみリサイクルシステムを全国400拠点に展開中。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	有償	動物性残さ	メリーズシステムに参加事業所で当社で回収のみ
供給資源・製品	食品残渣堆肥		形状 ばら、10kg等のポリ袋詰
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	通常の一般廃棄物収集運搬委託契約に比べて、処理料金、CO2排出量、衛生面等、改善される可能性が十分にあります。 生ごみ処理装置を購入する方法のほか、生ごみ処理装置と包括メンテナンスを含めたレンタルサービスも、選択して頂けます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化学肥料を使わず、安全・安心な農作物の生産が可能。 一般的な生ごみ堆肥と比べ、塩分・油脂分が1/5以下の安全・安心な堆肥です。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成16年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成20年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに40万膳採用 平成20年 ハイ・サービス日本300選に選定 平成25年 第3回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定

22.18.3 技術情報(2)

キーワード	プラスチック、木質、バイオマス、廃棄物処理、燃料、装置、システム			
技術名称	プラスチック・木質バイオマス等の油化システム			
技術の分類	油化・ガス化・コークス炉原料化			
目的・用途	廃プラスチック、木質バイオマス等を原料に石油燃料(石油代替燃料)にリサイクル			
特長	ミックスプラスチックや、木質バイオマスが、1 台の装置で油化リサイクル可能			
設備等の写真				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	ばら他
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	ばら他
	一廃・産廃	その他(廃食用油)	受入条件、形状	ばら他
供給資源・製品	石油(石油代替)燃料(灯油、軽油、A重油相当)		形状	油脂
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	プラスチック等の廃棄物を石油燃料(石油代替燃料)にして、出来た燃料を使用することができます。	

	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	石油燃料(石油代替燃料)を使用することで、バージン石油の使用量の削減ができるので、環境負荷低減と石油購入量の低減ができます。
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	平成 16 年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成 20 年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに 40 万膳採用 平成 20 年 ハイ・サービス日本 300 選に選定 平成 25 年 第 3 回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定

22.18.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	事業系食品廃棄物	-	-	
受入可能量	事業系食品廃棄物	-	-	
販売実績量の推移	食品残渣堆肥	-	-	
主な調達先	自治体、病院、レストラン、老人ホーム、カット野菜工場ほか			
主な供給先	農家			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業にて、若松西海岸の事業所 9 か所の、廃プラスチック、生ごみ、割りばし、廃食用油の回収と、堆肥化、油化、出来た堆肥と油は、ビニールハウスの堆肥と暖房用燃料に使用。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	平成 23, 24, 25 年度に、中国無錫(むしゃく)市へ、生ごみの堆肥化装置と、プラスチックの油化装置を、外務省無償資金協力にて、装置と変換技術を提供。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 17, 18, 19 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業 平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業			
その他実績	平成 16 年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成 20 年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに 40 万膳採用 平成 19, 20 年 経済産業省グリーンサービスサイジング事業の受託 平成 20 年 ハイ・サービス日本 300 選に選定 平成 20 年 環境省主催 ふくおか減 CO2 大作戦 2008(最優秀賞)同全国大会(特別賞、環境大臣表彰)受賞 平成 25 年 第 3 回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定			

22.20 アミタ株式会社

22.20.1 事業者情報

名 称	アミタ株式会社		
本社住所	〒102-0073	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 メヂカルフレンドビル 2 階	
資本金、出資金	473,239 千円		
従業員数	158 名(アミタグループ連結)(2014 年 1 月 1 日現在)		
設立年月日	1977 年 4 月 1 日		
URL	http://www.amita-net.co.jp/		
事業概要	<p>総合環境ソリューションの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物再資源化サービス ・環境管理業務支援サービス ・環境・CSR マーケティング支援サービス 等 		
事業所写真	<p>http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html</p> 		
問合せ先窓口	部署名	コミュニケーション戦略グループ 共感資本チーム	
	担当者名	広報担当(蝦名 裕一郎)	
	連絡先	電話番号	075-277-0795
		FAX	075-255-4527
E メールアドレス		press@amita-net.co.jp	

22.20.2 技術情報

キーワード	持続可能社会の実現、100%再資源化、廃棄物処理			
技術名称	産業廃棄物を原料とした循環資源の製造			
技術の分類	その他(調合)			
目的・用途	独自の技術で混錬、調合(調整・混合)を行い、セメント原料化や金属原料化			
特長	単体では再資源化困難な発生品(廃棄物)を調合し、再資源化可能な循環資源としてユーザーに提供しております。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/			
設備、製品等の写真、イメージ	セメント原料系 : http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg セメント燃料系 : http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg 特殊鋼原料 (Ni、Cr) : http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg 金属原料 (Cu) : http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg 説明ページ : http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、鉱さい、ダスト類、全 11 種類	受入条件、形状	成分、性状により判定。
			受入条件、形状	
			受入条件、形状	
			受入条件、形状	
			受入条件、形状	
供給資源・製品	セメント原料 燃料系	形状	泥状	
	セメント原料 原料系	形状	泥状	
	金属原料 Ni-Cr 系	形状	泥状	
	金属原料 Cu 系	形状	泥状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・100%再資源化、副次的に発生する廃棄物が存在しない。 ・単体では再資源化が難しい廃棄物も調合によって再資源化できる可能性が高い ・100%再資源化のため将来的な廃棄物の残存リスクがない。 <p>埋め立てリスク: http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%再資源化のため、再資源化率の計算がしやすい ・港湾を使った海運中心のため、輸送コストと重量ベースで輸送時二酸化炭素が陸送と比べて低い ・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。 <p>http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・安全・地域貢献: <p>http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</p> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路、京丹後、茨城の製造所は優良認定許可取得済みです。(川崎、北九州は5年経過後申請予定) ・企業環境担当者様向けの無料・有料のソフトサービスも充実しています。http://www.amita-net.co.jp/management/ ・自社で受入不可能な廃棄物も再資源化ネットワークを駆使して受け入れ先を見つけます。 <p>http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html</p>
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> ・一定品質、物量の安定した副原料の活用。 ・化石燃料の使用量削減 ・コスト削減、収益の改善 <p>・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。</p> <p>http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・安全・地域貢献: <p>http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</p> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p>
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<p>見学実績:2013年:91団体 152名 マレーシア環境局等海外の受入実績多数</p> <p>http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html</p>

22.20.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の 推移	汚泥	未稼働	非公開	t
	燃え殻	未稼働	非公開	t
	廃油	未稼働	非公開	t
	廃プラスチック類	未稼働	非公開	t
	ばいじん	未稼働	非公開	t
	木くず	未稼働	非公開	t
	動植物性残さ	未稼働	非公開	t
	ガラスくず	未稼働	非公開	t
	鋳さい	未稼働	非公開	t
受入可能量	400 m ³ /日	③産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の種類、 ④処理能力 燃え殻 79.8t/1 日(8 時間) 汚泥 312m ³ /日(8 時間) 廃油 70m ³ /日(8 時間) 廃プラスチック類 77t/日(8 時間) 紙くず 5.4t/日(8 時間) 木くず 9.9t/日(8 時間) 動植物性残渣 18t/日(8 時間) 金属くず 79.1t/日(8 時間) ガラスくず 70t/日(8 時間) 鋳さい 135t/日(8 時間) ダスト類 88.2t/日(8 時間) ■開示情報 http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&Param2=60035&Param0=&menu=2		
出荷実績量の 推移	セメント原料系	未稼働	283	t
	セメント燃料系	未稼働	15,351	t
	特殊鋼原料	未稼働	220	t
	http://www.amiita-net.co.jp/pdf/performance.pdf	未稼働		

主な調達先	化学、電気、鉄鋼、製紙、精密機器等、各業種
主な供給先	セメント・非鉄・鉄鋼メーカー
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>海外からの研修、見学を積極的に受入。事業展開も検討中。 1980年代から海外事業を展開しており、産物(有価物)、廃棄物を原料として捉えた輸出入の取り引きのほか、一部の国ではセメント代替燃料に関する特許をライセンスしました。</p> <p>▼取引実績国 台湾／韓国／中国／ロシア／フィリピン／シンガポール／インドネシア／マレーシア／タイ／アメリカ等</p> <p>▼海外オフィスと現地法人 韓国には 1991 年にオフィスを開設し、2011 年には台湾に現地法人を設立しました。台湾では、太陽電池の製造工程で排出される廃棄物の再資源化施設を、台南市にて計画しています。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html</p> <p>2014 年は台湾における再資源化プラントの設置・稼働準備およびマレーシアでの再資源化事業検討など、急成長する海外市場の開拓を推進します。 http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html</p>
補助金等支援策の活用実績 (過去 5 年間)	非公開
その他実績	<p>■受賞歴 第 9 回エコプロダクツ大賞優秀賞(2012 年) グッドデザイン賞(2001 年) 資源循環技術・システム表彰 CJC 会長賞(1996 年)他。 http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html</p> <p>■再資源化実績・取扱品目: http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html</p>